

**あいりん地域まちづくり会議  
福利・にぎわい検討会議議事のあらまし  
(令和5年度)**

○福利・にぎわい検討会議開催概要 ..... **1**

○関連するエリアマネジメント協議会での議論について ..... **4**

## 福利・にぎわい検討会議開催概要（令和5年度分）

### 令和5年6月12日〔第10回〕福利・にぎわい検討会議

#### ●第2回多目的広場に関するワークショップについて

- ・多目的広場に関するワークショップを実施し、「多目的広場に必要な機能」「利用主体」「利用形態」などについて意見を集約した。
- ・集約したご意見を事務局でとりまとめ、次回会議で共有することを確認した。

#### ●センター跡地北側に福利機能として新たに設置する4つの機能について

- ・センター跡地北側に福利機能として新たに設置する4つの機能「多目的ホール」「図書施設」「実演の場・地域の歴史等の伝承等」「こどもの居場所、子育て支援機能」について、これまでいただいたご意見の振り返りを行った。

#### ●センター跡地の利活用における公民連携のイメージについて

- ・公民連携イメージ整理表（素案）で、施設の所有と運営のパターンについて説明した。また、望ましい事業スキーム（素案）として「リース方式」「定期借地権方式」について説明を行い、ご意見をいただいた。
- ・事業者等へのヒアリング結果等を提示し、共有した。

## 福利・にぎわい検討会議開催概要（令和5年度分）

### 令和5年9月20日〔第11回〕福利・にぎわい検討会議

- 多目的広場に関するワークショップでの意見一覧について（参考資料3－1参照）
  - ・前回会議で実施した、多目的広場に関するワークショップでの意見を集約し確認した。
  - ・多目的広場ワークショップでのご意見を踏まえて作成した利活用イメージ（案）について、事務局より説明し、ご意見をいただいた。
  
- 「センター跡地北側に求められる4つの福利機能」について（参考資料3－2参照）
  - ・センター跡地北側に福利機能として新たに設置する4つの機能「多目的ホール」「図書施設」「実演の場・地域の歴史等の伝承等」「こどもの居場所、子育て支援機能」について、これまでのご意見をもとに、施設の規模感や利用イメージ等を提示し、共有した。
  
- にぎわい創出機能のイメージについて（チャレンジ・再チャレンジできるまちの実現に向けて）（参考資料3－3参照）
  - ・スモールビジネスのイノベーション拠点の創出、ボランティアや中間就労・正規雇用等の創出に向けたプラットフォームづくりなど、「チャレンジ・再チャレンジできるまち」の実現に向けたイメージについて、事務局より説明を行い、ご意見をいただいた。
  
- あいりん地域におけるワンストップ相談窓口等の検討状況について
  - ・ワーキンググループ設置の経過や議論の進め方について、事務局より説明を行い、ご意見をいただいた。

## 福利・にぎわい検討会議開催概要（令和5年度分）

### 令和6年3月5日〔第12回〕福利・にぎわい検討会議

#### ●令和5年度の振り返りについて

次の内容について、令和5年度の振り返りを行った。

- ・多目的広場に関するワークショップについて
- ・「センター跡地北側に求められる4つの福利機能」について
- ・にぎわい創出機能のイメージについて（チャレンジ・再チャレンジできるまちの実現に向けて）

#### ●チャレンジ・再チャレンジの取組事例について（参考資料3－4参照）

- ・市営住宅の清掃・除草や、イベントでの物販などの就労体験など、サービスハブ事業でのチャレンジ・再チャレンジの取組事例について、事務局より説明を行い、ご意見をいただいた。

#### ●あいりん地域におけるワンストップ相談窓口等の検討状況について

- ・3～4のグループに分かれて議論を行うこと、各グループでどのような主体について議論したのかについて、事務局より説明を行い、ご意見をいただいた。

## 関連するエリアマネジメント協議会での議論について（令和5年度分）

### 令和5年9月4日 令和5年度第1回就労福祉専門部会を開催

- ワンストップ相談窓口等ワーキンググループでの検討状況について。
  - 第1回WG：参加者の大半が窓口議論に関わることが初めてであったため、これまでの議論経過や相談窓口のイメージの共有を図った。
  - 第2回WG：参加者から業務において対応している各窓口での具体的事例を集約し、想定される対応窓口を基に事務局で整理した、「取りまとめ案」を今後の窓口機能の検討材料とするため参加者へ提示した。
  
- サービスハブ事業・ひと花事業の大きな方向性について
  - ・稼働年齢層（15～64歳）が対象の「サービスハブ事業」、高齢者層（65歳以上）が対象の「ひと花事業」を令和6年度から融合予定。
  - ・年齢での事業分けを一体的に捉え、利用される方々のそれぞれの自立に向けた支援を行えるよう事業を組み立てる